

2024年5月23日

# 田植え体験 2024



令和6年5月18日(土)、最高気温30°Cの晴天の下、知多市にあるこの圃場にて田植え体験を行いました。今年は新入社員5名に加えて、2年次以降の若手社員の方から部長などのベテラン社員の方、社員のご家族の方まで多くの方々にご参加いただき、盛況に終わりました。田植えが終わった後は参加者の皆さんはもちろん、更には社長も交えてBBQを行い、田植えの疲れを労いました。

田植え体験に参加して一緒に汗水流して苗を植えてくださった皆様をはじめ、田植え体験の事前準備や当日の準備で様々なサポートをしてくださった皆様には、この場を借りて御礼申し上げたいと思います。

# 新入社員 5 人の感想

今回は暑い中でしたが、皆様のご協力もあり、無事田植え体験を成功させることができました。ありがとうございました。田植えという農業のほんの一端を体験しただけでしたが、食を支えることの大変さ、農業の基盤を支える自分の仕事の重要性を改めて認識することができました。今回の体験を胸に、食を支える仕事だという自覚をもって仕事に取り組んでいきたいです！[Y.B]

普段当たり前のように店頭に並んでいるコメの裏にある生産農家の方々の苦労を身をもって体感しました。また、機械農業ではなくあえて手植えによる田植えを行うことで、心地良い疲れとともに土壌や水・稲の苗の質感を得ることができました。[K.M]

初めての手植えは、想像以上に紐を引っ張り続けるのが大変でしたが、社員の皆様の手際の良さから昨年よりも早く完了できました。本当にありがとうございました。また、研修の集大成として、5名の同期と親睦を深められたと思います。このような農業体験は、農家の方々のご苦労や食への感謝、そして皆で協力することを忘れないために重要だと感じました。来年以降も、ぜひ参加させていただきます。[K.H]

今回、私は人生初の田植えに参加した。日本や東南アジアをはじめ世界の多くの国で主食とされるコメを農業体験として扱えたことは大変貴重な経験であった。現在、アグリイノベーションにより様々な農業が営まれている中、元来の田植え方法を体験することで農家さんの努力や日々の食事への感謝という面で食育活動にも貢献できたのではないかと考えている。本経験を通して将来携わる開発途上国の農業開発で活かせれば本望である。[Y.U]

参加してくださった皆様のおかげで、無事に田植え体験を終えることができました。私自身は手作業による田植えの経験はあるものの、コロナ禍になってからは一度もできなかったもので、こうして田植えができたことを本当に嬉しく思います。農業の大変さや大切さを体感できるこの行事が今後も続いていくことを願っております。[K.H]



## 立て看板



「DO YOU 農業?」というキャッチフレーズには、「農」と「know」がかけられており、農業の重要性を皆に知ってほしいという思いと、私達自身もっと農業を知りたいという思いが込められています。

## オリエンテーション



田植えの前には、苗の植え方の説明と準備体操を行いました。

## BBQ



田植えの後には、たくさんのお肉やピザ、寿司などを食べながら、参加者同士の交流を深めました。

編集:令和6年度新入社員